

「介護ラボしゅう」の挑戦！ ～思いの「場」を始めて得たもの～

介護ラボしゅう代表 中浜崇之
介護福祉士 石坂友和

1 はじめに なぜ「介護ラボしゅう」を始めたのか…

「介護という職業の、世間からのイメージの悪さを変えていきたい」「せっかく介護職についても現場になじめず、気持ちがあるが離職してしまう人がいる。そんな人を減らしたい」という気持ちから、自分たちの思いを話せる「場」を作ろうと考え、会を始めました。不安な気持ちがあっても、仲間がいて思いを話したり、相談できる「場」を、組織を超えたところにも必要だと感じました。私は先輩や仲間助けられ、今があると思います。だからこそ、支えあい、知識や技術を分かち合うことが必要であり、また介護の質が向上していくのだと思います。

2 「介護ラボしゅう」とは

「集」・「習」・「修」・「秀」・「就」等の意味をもった集団・会・研究所を目指し、「介護ラボしゅう」と名付けて、2010年5月にスタート。

私たちの目的としているもの

- ① 介護士として同じ介護の世界で悩んでる人をなくしたい
- ② 介護困難での殺害や自殺をなくしたい
- ③ 介護士の地位向上
- ④ 介護×私×あなた＝文化へ

3 活動状況

- ・毎月第3木曜日（19:30～21:00）に開催しており、現在までに18回開催
- ・参加対象は介護や福祉に興味のある方ならどなたでも参加いただいている

4 活動内容・とりくみ ～事例を通して～

- ・対話の手法を利用し、思いの共有やお互いからの学びを得る
- ・講師を招き、講義からの知識の向上
- ・ホームページを作成し、活動内容を公開

5 活動から得たもの

- ・地域や組織を越えるからこそ柔軟で多様な意見を得る事が出来る
- ・介護士の専門性への気づき
- ・仲間

6 むすび 課題と展望

- ・介護の知識のない地域住民へ向けて介護を知らせる一歩を目指す
- ・介護を特別なものではなく、当たり前のものへ
- ・介護、福祉を目指す学生と現場職員や社会人との交流の場づくり